

地球社会基盤学専攻	研究分野	環境保全	Lab. ID GC16
研究室Webサイト			
研究課題の概要			
<p>人間活動に伴って川や海へ排出される化学物質を適正に管理するため、化学物質はどこから水環境中に排出されるか(排出源)、水環境中ではどうなるのか(環境中運命)について研究を行っています。具体的には、河川等における現地調査と、吸着試験等の室内実験を実施し、微量有機化学物質の水環境中動態を数理モデルで再現することを目指しています。</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>環境問題の制御因子は時空間的に大きく変化するため、問題の根本的な解決には、メカニズム解明とモデル化が必要であると考えており、この点を意図した目的設定や結果考察の方法を指導します。月2回程度の頻度で、研究進捗状況を報告し、他の学生、指導教員と意見交換する場を設けます。また、月2回程度の頻度で、環境デザイン学専攻の水環境工学研究室、環境リスク制御工学研究室との合同ゼミを行います。</p>			
研究室生活の紹介等			
<p>前述の2研究室とは、合同ゼミだけでなく、歓送迎会、忘年会等のイベントも一緒に行いますので、中国、タイ、ベトナム等のアジア各国からの留学生との交流が盛んです。</p>			
教員からのメッセージ			
<p>大学を卒業して社会に出る前に、「研究」とは何なのか、「研究」と「実務」はどう違うのか、「研究」が社会の中でどういう役割を担っているのかを理解・体験することは、大学でしか出来ない有意義なことだと思います。大学院に進学すれば、これらが見えてくると思いますし、こちらも学生が理解しやすいように指導しますので、大学院への進学や本研究室への配属を一度検討してもらえたらと思います。</p>			
研究室連絡先メールアドレス	花本征也 <hanamoto64@staff.kanazawa-u.ac.jp>		